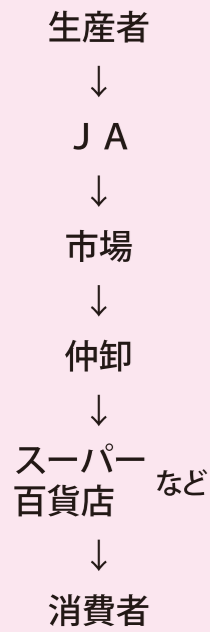
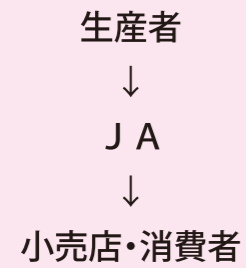


## 一般の流通と直接(買取)販売

### 一般の流通



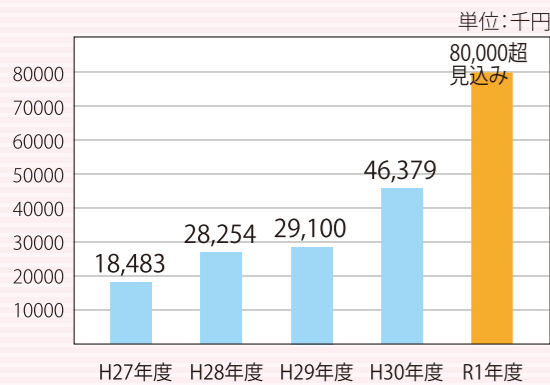
### 直接(買取)販売



#### 直接(買取)販売の主なメリット

- ✓ 新たな販路拡大
- ✓ 流通経費を抑え、その分農業所得の向上
- ✓ お客様の手元に届く日数が短く、より鮮度が良い

図1 直接(買取)販売事業の実績推移



## 新たな販路拡大で生産者の農業所得の向上へ

JA伊豆の国は、自己改革「生産者の農業所得の向上」を目指して平成27年度から「直接(買取)販売」事業による農産物販売の専任営業職員を配置し、地元飲食店や観光施設などへの農産物の販売強化を図っています。大きな数量や全国規模を対象とする市場出荷とあわせて、直接(買取)販売事業で地元の小売店など新たな販路を拡大し、農業所得の向上を目指します。現在はイチゴを主に、ワサビ

## 特集 JA直接(買取)販売事業を強化

# 生産者の農業所得の向上と他業種と連携し地場産の魅力発信

やシイタケ、ミニトマト、トマト、柿など数多くの地場農産物を同事業で取り扱っています。イチゴは地元の観光施設・飲食店でスイーツ商品などに活用。県下を代表するイチゴ産地として味や品質はもちろん、規格サイズや数量などの各ニーズに対応する、直接(買取)販売事業は取引先からも好評です。

ワサビやシイタケは寿司店で、トマトや柿など各種農産物が伊豆の国市のふるさと納税の返礼品に活用されるなど、他業種と連携した地場農産物の魅力の発信・活性化にもつながっています。

JA伊豆の国は自己改革の取り組みとして、農産物の直接(買取)販売事業の強化に努めています。生産者の農業所得の向上を目指した同事業を通じて、イチゴは地元の観光施設・飲食店でスイーツ商品に活用されるなど、他業種と連携した地場農産物の魅力の発信にもつながっています。今月は直接(買取)販売事業についてご紹介します。



## JA担当者



営農販売課  
たけむら たかあき  
竹村 卓晃

### 新たな販路で地場産広める

生産者の皆さまの農業所得の向上へ、前任者が開拓してきた取引先を大切に、他業種と連携した新たな販路拡大に取り組んでいます。農業所得を向上し魅力ある農業に、それが次代の担い手を生み出し、最終的には産地の維持・活性化につながっていくのだと思います。その一翼を担える仕事にやりがいを感じています。

いろいろな業種の方に伊豆の国の農畜産物を活用いただき、おいしさ・魅力を広く発信すること。何より他業種との連携が大切です。取引先からは「JA伊豆の国産は品質が良い」との声をいただき、取り扱いが広がっています。今後、も地元はもちろん、県内外へ新たな販路拡大・取引拡大に取り組んでいきます。